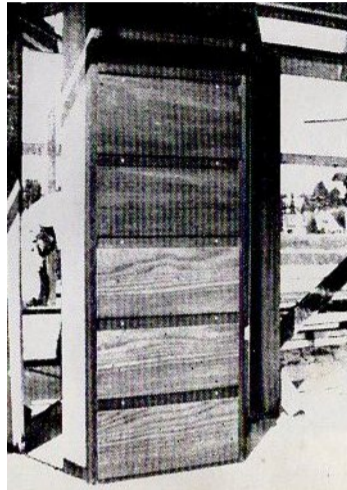
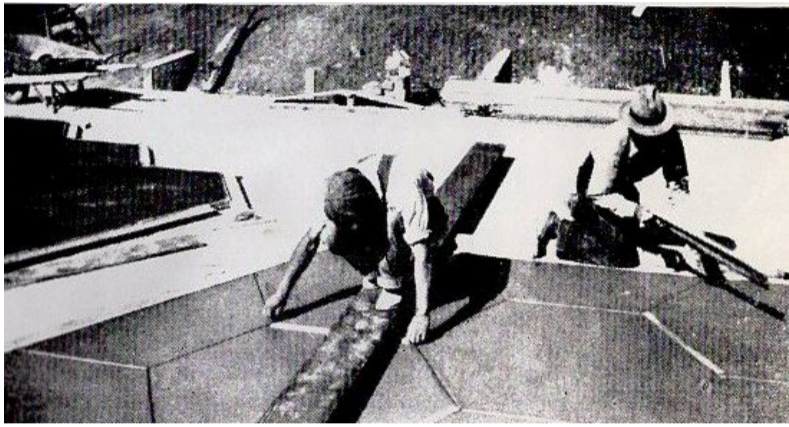


作品：ハンナ邸 メサの上の家 ジェイコブスの家 (68頁～84頁)

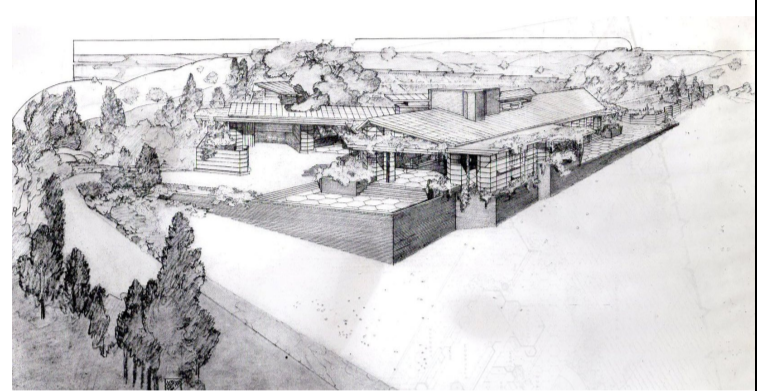
下記の文は翻訳の一部分を抜粋

「ハンナ邸」 六角形のタイル状にカットしたコンクリート・マットの上に、レッドウッドのボード・パーティションを建てる。

六角形のタイルとパーティション

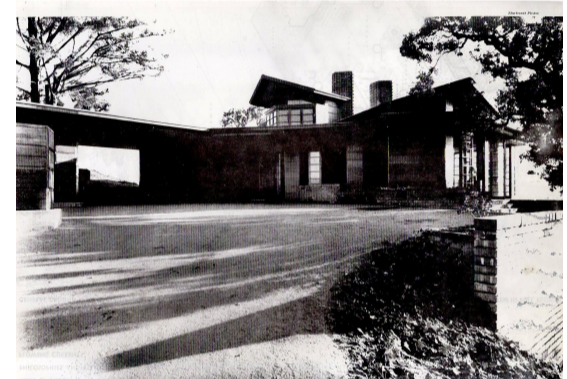


P68 六角形のタイル状は、四角形よりも人間の動きに対してより豊饒で柔軟性があると確信している。鈍角は直角よりも人間の「行き来」に適している。平面と、全体を支えるコンクリートスラブの床の模様から文字通り立ち上がる。

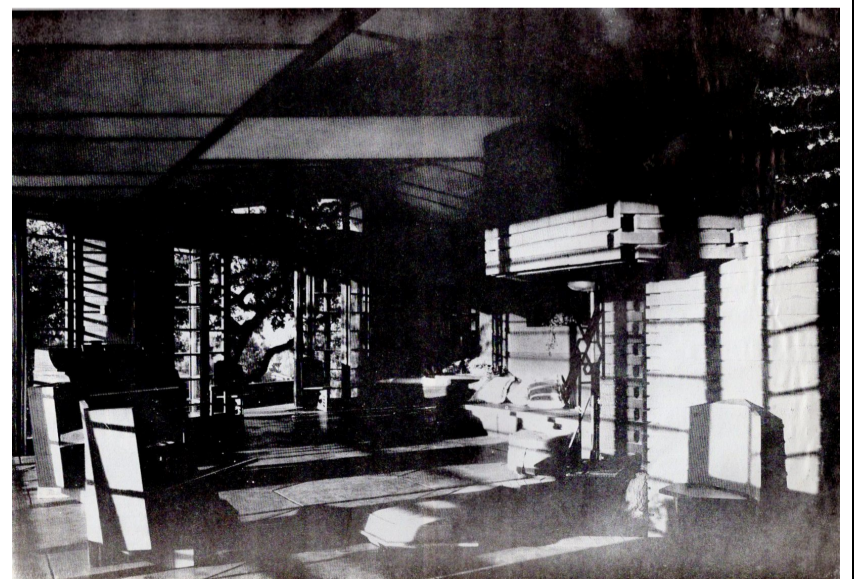
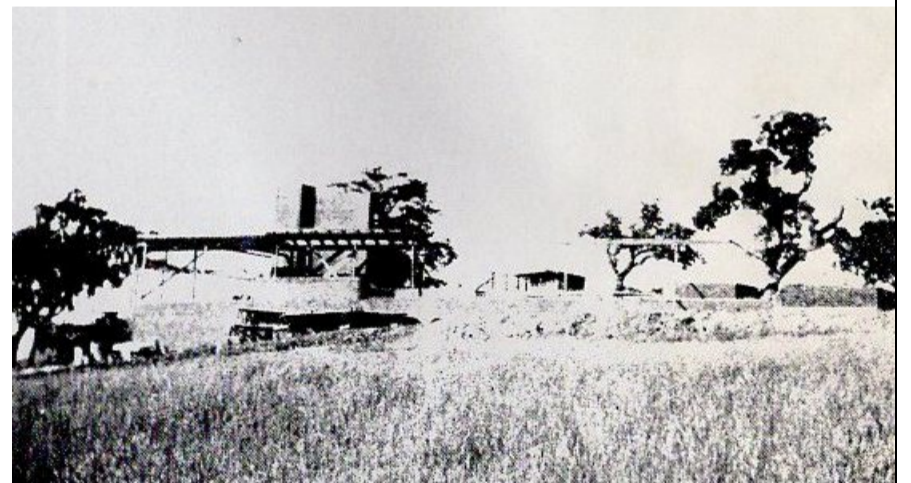
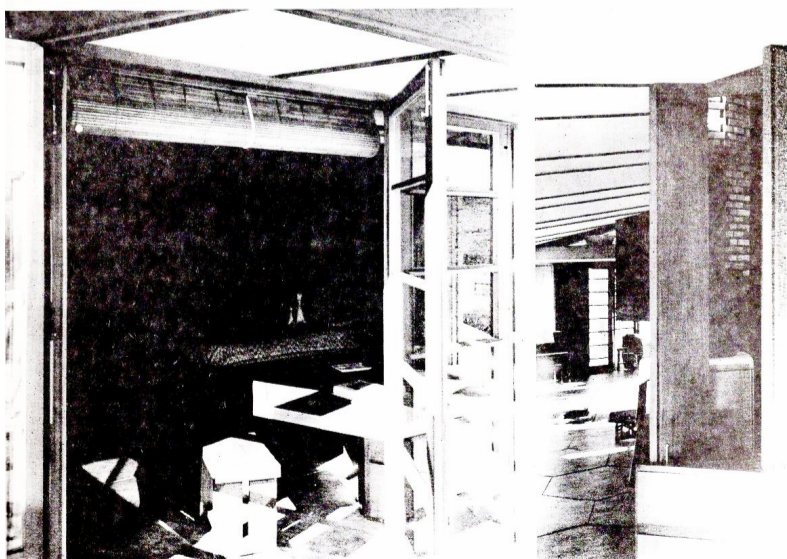
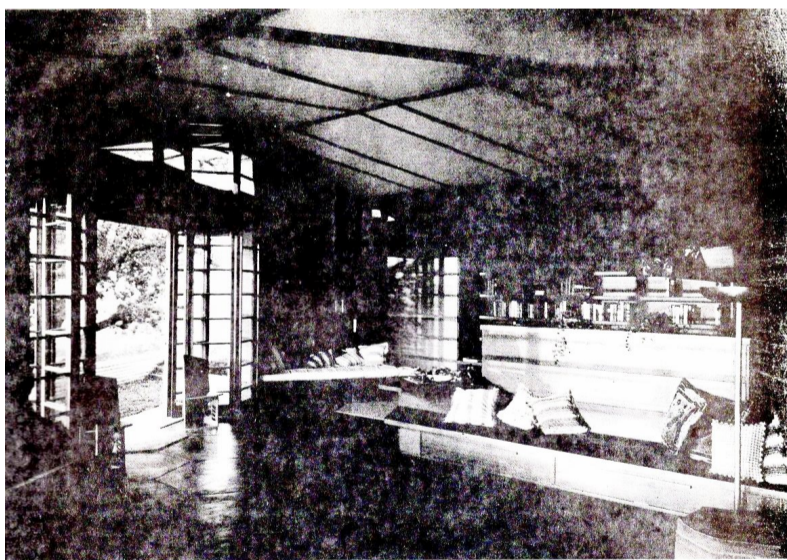


六角形のハニカムホームの平面図

p 72 建設中に撮影、モダンな木造住宅の特徴的なシルエット。



上：家具は、デザインされている。下：外から子供部屋の一室を見る



「ハーバート・ジェイコブスの家」 ウィスコンシン州マディソン

適度なコストの住宅は、アメリカの主要な建築問題であり、主要な建築家にとって最も困難な問題でもある。

中価格帯の住宅問題の真の解決を阻む最大の障害は、国民が「どのように暮らせばいいのか」を本当に理解していないという事実である。

猿真似 "ビジネスこそが、わがアメリカにおける建築的達成の障害なのである。

真の文化の基礎・ よりシンプルで、同時に、より優雅な暮らしのためのパターンでなければならない。

若いジャーナリストとその妻、そして小さな娘のためのこの家ジェイコブスの家がどこまで賢明か見てみよう。費用 5,500 ドル。建築費 450 ドルを含む

・彼らの住む時代の工業的な利点を享受するためには、次のようなことをしなければならない。

1. 目に見える屋根は高価で不要。
2. 車庫は、必要ない。カーポートで十分。
3. 地下室は悩みの種だった。砂利を敷き詰めた上にコンクリート・マットを地面に直接敷き、その上に壁を設置するのがよい。
4. 内装の「トリム」はもはや必要ない。
5. ラジエーターも照明器具もいらない。暖房は床の中か床下で行い、配線システムそのものを照明器具にして、

天井に光を当てる。フロアランプ用のいくつかのコンセントを除いて、光は間接照明となる。

6. 家具、絵、装飾品 家具、絵、装飾品は、壁がそれらを含むように不要である。

7. 塗装は一切しない。木はそれ自体を最もよく保存する。フロアマットだけはワックスをかける必要がある。

8. 建物内に漆喰を塗らない。

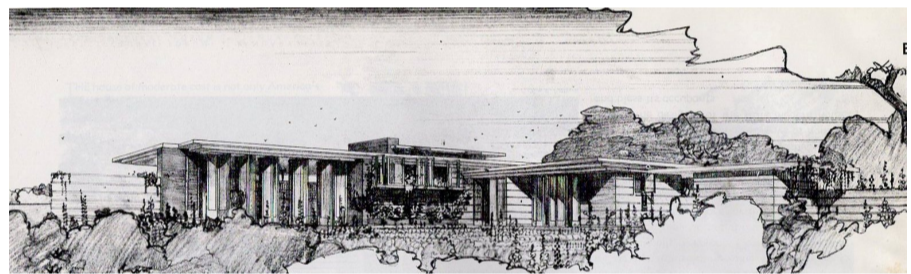
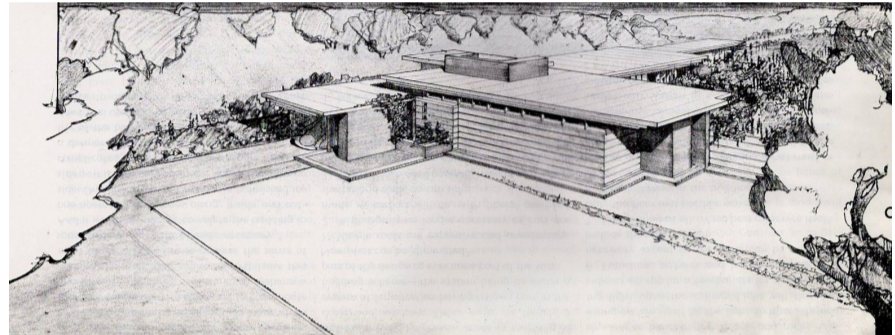
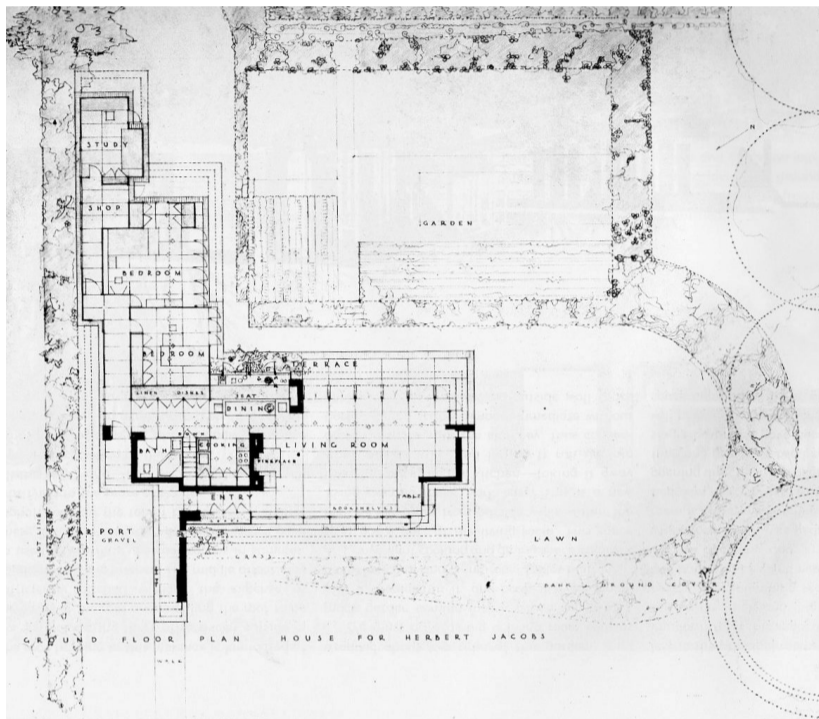
9. 雨どい、樋は使わない。

新しい建築に 5 つの材料、木、レンガ、セメント、紙、ガラス。

壁は内側も外側も同じ板張りで、厚さ 3 枚の板の間に紙を挟み、板をビスで固定する。

これらの壁は、開口部と同様、プレハブで床に設置し、工場で作ることもできる。トリム

「ジャコブス邸スケッチ」 1937 年 11 月 30 日、床スラブにヒートスチームパイプを組み込んだ最初の住宅が完成

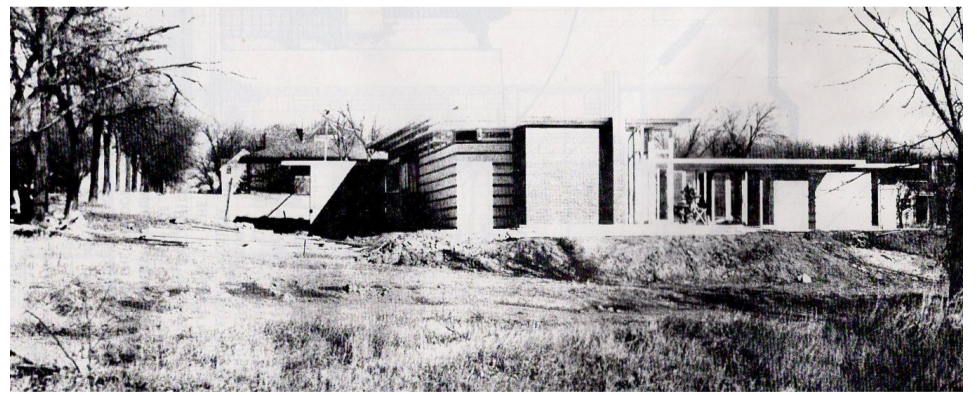


- ・南と西に面した 1 エーカーの角地を手に入れた。
  - ・屋根に 2×4 材を葺き、良質なアスファルトの屋根で覆ったもの。
  - ・広いリビングルームが必要だ。
- 暖炉があり、本棚、ダイニングテーブル、ベンチ、リビングテーブルが組み込まれている。
- ・隣接した便利な調理・ダイニングスペース。これはキッチンに関する新しい考え方。
  - ・バスルームは キッチンと浴室両方の配管機能を一体化。
  - ・将来寝室になるかもしれない作業場がある。

- プライバシーのため、どの寝室ともすぐにはつながっていない。
- ・水平線に向かって伸びていく家以外は、「大きさ」をまったく感じさせない。
  - ・このような家は建築家の作品である。
  - ・このようにお見せすることで、植民地時代の小さなホットボックスがいかに息苦しいものであるかをご理解いただけるだろう、一度に何軒も建てれば、おそらく 3,500 ドルにまで下がるだろう。

南と西に面している。庭もある。

インテリアガーデンから見たハーバート・ジェイコブスの家 このユーソニアンハウスは、住人のプライバシーを確保するため、通りに背を向けている。



知恵は学校では最終的にテストされない。  
知恵は、それを持つ者から持たない者へと受け継がれることはない。  
知恵は魂のものであり、証明されるものではなく、それ自身の証明なのだ。  
哲学や宗教は、講義室ではよく証明されても、広々とした雲の下、風景や流れに沿ってはまったく証明されない。

ウォルト・W・アイティマン

次号はジョンソンワックス本社を予定しています。